

日本の服飾における伝統色彩に関する考察

—平安時代の女房装束の重桂の配合について—

中 林 正 子

はじめに

前報では、平安時代における重色目を通して、当時の貴族達が、どのような服色を愛用していたかを考察したが、本報では、それに関連して、女房装束の重桂の配合法から、当時の女房たちの配色感覚を考察してみたいと思う。

女房装束は、後世十二単衣ともよばれる、後宮の女房の晴の装束である。その着装上の桂の構成は、白の小袖の上に、紅や葡萄の袴をつけ、その上に、更に、単衣—重桂—打衣—表着—唐衣（略式は小桂）の順に着用し、更に裳をつける装束である。（図—1）

この装束では、五つ衣といわれる五枚の重桂の部分が中心になっていて、それには、四季の植物や、色の配合法をあらわす名称がつけられた。それらの名称は、

もともと重色目の表裏の配合をあらわすものであったが、後に、重桂の表の色の配合をあらわす名称となった。（図—2）

この重桂の配合に関する資料としては、平安時代後期に書かれた『満佐須計装束抄』（源雅亮）、更に、室町時代の『女官飾鈔』（一条兼良）『曇華院殿装束抄』（聖秀女王）、などがあげられるが、ここでは、『満佐須計装束抄』と『女官飾鈔』によって、五つ衣を中心に、重桂の配色効果をみた。『満佐須計装束抄』では、五つ衣と単衣の構成が示されているが、『女官飾鈔』においては、単衣、五つ衣、表着、小桂までが示されている。

I. 『満佐須計装束抄』にみられる重桂の配色について

1. 重桂の名称と桂構成（表—1）

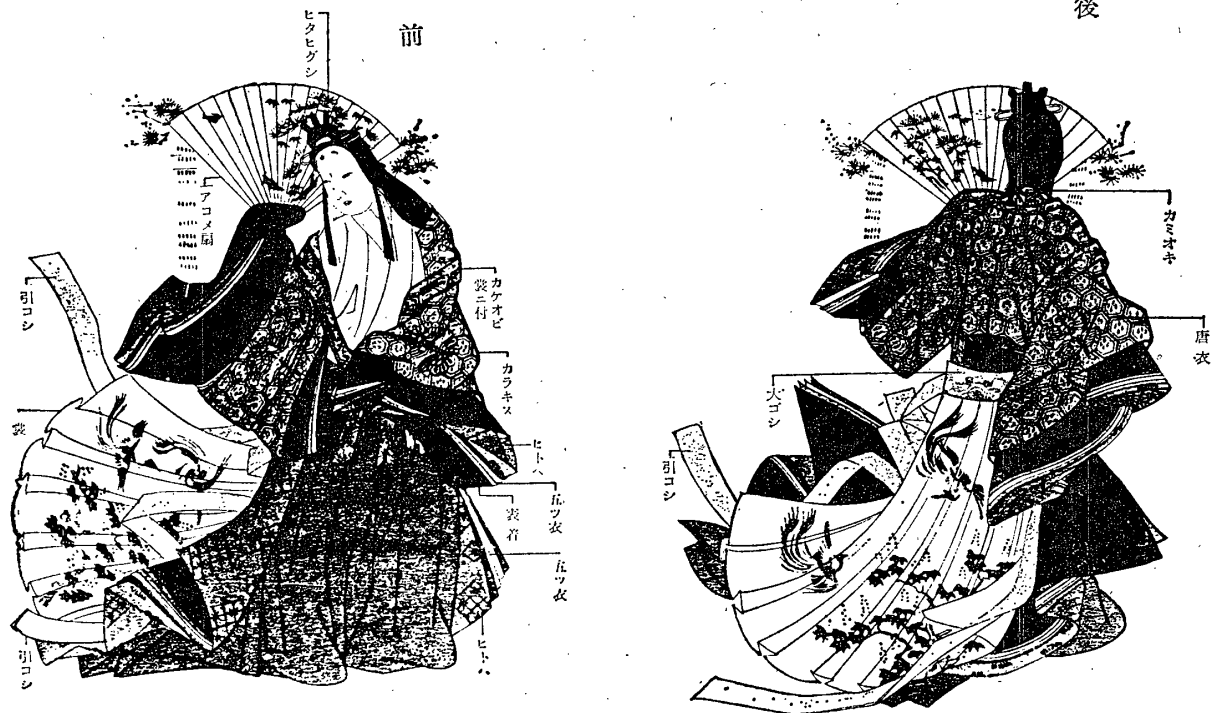


図1 女房装束

紅 薄 様 (袖)

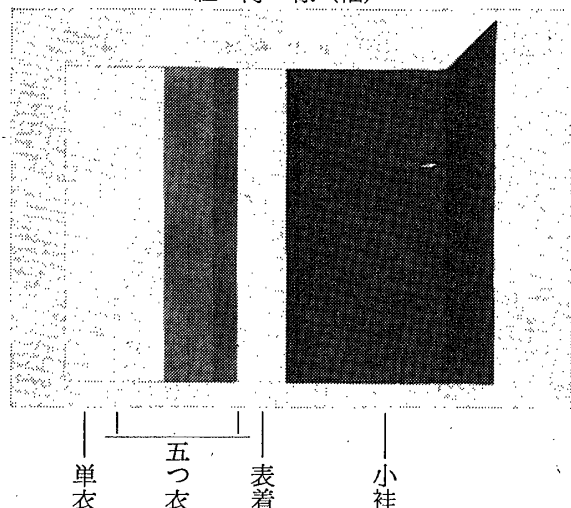


図 2

2. 配色の分類

表-1により、これらにあらわれる表色を色相別に大別すると、次のようになる。

- 赤系統—蘇芳, 紅, 紅梅
- 黄系統—黄, 山吹 (表黄, 裏青)
- 女郎花 (経青, 緯黄)
- 緑系統—青, 萌黄
- 紫系統—紫, 萩 (経青, 緯淡紫)

この様に、使われている色は、わずかに10色であり、表着や小桂を、季節に適した重色目のものを着用することになっている。

次に名称別配色の分類を表-2, 表-3に示す。

3. 五つ衣の配色の分類結果

表-2, 表-3によると、『満佐須計装束抄』による重桂は、赤系統 (紅, 蘇芳, 紅梅) が多く、白ばかりの五つ衣もいれると、全体の45種のうち、27種が、同一色相、又は、同一色相の濃淡、又は、それに白を配したものとなっている。同一色相の濃淡の中には、だんだんうすく、又は、だんだんこく (匂形式) なるものや、上3枚はだんだんうすく、下2枚は白 (薄様形式) となるものがある。

2色の配色としては、赤と緑の組合せが5種類みられるが、これらは、対立色相によって、コントラスト感を大きくあらわしたものであり、紫と緑のように、類似色相で、コントラスト感が中程度のものも、7種類ある。3色以上の配色は、全体的には少ない。

4. 五つ衣と単衣との配色関係について

五つ衣の下に単衣を着用するのであるから、当然単衣の色も重桂の配合にかかわっている。表-4に、五つ衣と単衣との配合と、コントラスト感の大 (対立

色), 中 (類似色), 小 (同一色) をあらわした。

表-4によると、単衣は紅が19種で一番多く、青12種、白13種、紫1種となっており、五つ衣に対して、コントラスト感を大きくあらわすものが大半をしめている。すなわち、単衣は、同一色、又はその濃淡の桂が、5枚重ねられる、ゆるやかな、漸層的配色に、紅や青のはっきりした、対立的な色相の単衣を組合せることによって、変化のある、ひきしまった感じをあらわしている。又、多くはないが、白の五つ衣に白の単衣や、五つ衣と同色の単衣を配したものがあるが、これらは、重桂全体に、統一感と、まとまりをあらわす役割をしている。

II. 『女官飾鈔』にみられる重桂の配色について

1. 重桂の名称と桂構成 (表-5)
2. 配色の分類

表-5により、これらにあらわれる表色を色相別に大別すると

- 赤系統—蘇芳, 紅, 紅梅, 赤いろ
- 黄系統—黄, 山吹 (表黄, 裏青)
- 女郎花 (経青, 緯黄), 朽葉
- 緑系統—萌黄, 青
- 紫系統—紫, 葡萄 (表蘇芳, 裏縹)
- 青系統—二藍

となる。色数は13色となるが、『女官飾鈔』においては、単衣と五つ衣の上に、表着、小桂までがあらわされているので、『満佐須計装束抄』よりずっと多彩になる。

表-6に、『女官飾鈔』にみられる、単衣から小桂までの配合を示した。このうち、五つ衣の配色の分類を表-7に示す。

3. 五つ衣の配色の分類結果

表-7によると、赤系統の五つ衣が、全体の47種のうち17種あり、次いで、紫系統8種、白と黄系統がそれぞれ7種あり、青系統の五つ衣として、二藍の単衣重ねが1種のみみられる。又44種が同一色、又は、白のみの五つ衣となっており、2色以上の配合は、わずか3種のみしかみられない。

4. 単衣、五つ衣、表着、小桂の配色関係について

表-6によると、単衣、表着、小桂とも赤系統が一番多く、次いで緑系統が多い。特に、単衣と小桂に赤系統が多く、その間に、ほとんどが色相のことなる五つ衣と表着がはさまれるから、これら8枚の衣の構成は、いかにはやかなものが多かったかがわかる。単衣から小桂まで、赤と緑系統の二色の配合が47種中、11種あり、赤と白の配合のものが6種ある。あとは、

表一 満佐須計装束抄による重袿の名称と袿構成

名称 (季節)		裏こき蘇芳		蘇芳 匂		松 重		白 ぎぬ		紅 匂	
五つ衣・ 単衣	五つ衣 1	表中蘇芳	裏濃蘇芳	淡蘇芳	濃蘇芳	濃蘇芳	白	紅	紅	紅	紅
	2	"	"	↓ たんく	淡蘇芳	"	"	"	"	↓ たんすく	紅
	3	"	"	↓ たん	"	"	"	"	"	↓ たん	紅
	4	"	"	↓ たん	萌黄匂	"	"	"	"	↓ たん	紅
	5	"	"	濃蘇芳	紅	"	"	"	"	淡紅	紅梅
単衣		青	青								
名称 (季節)		紅 薄 様		紅 梅 匂		萌 黄 匂		薄 萌 黄		柳	
五つ衣・ 単衣	五つ衣 1	紅 匂	白	淡紅梅	淡萌黄	表淡青	裏青	表白	裏淡青		
	2			↓	↓	"	"	"	"		
	3			↓	↓	"	"	"	"		
	4			↓	↓	"	"	"	"		
	5			濃紅梅	濃萌黄	"	"	"	"	紅	紅
単衣			青		紅						
名称 (季節)		菊の 様々 (十月一日～)		紅 紅 葉 (十月一日～)		槿 紅 葉 (十月一日～)		青 紅 葉 (十月一日～)		楓 紅 葉 (十月一日～)	
五つ衣・ 単衣	五つ衣 1	表蘇芳匂	裏白	紅	黄	濃青	青	淡青	青	淡青	青
	2		"	山吹	黄	淡青	青	"	"	"	"
	3		"	"	黄	山吹	黄	青	"	"	"
	4		"	"	濃青	紅	山吹	青	"	"	"
	5		"	"	淡山吹	蘇芳	蘇芳	紅	蘇芳	紅	紅
単衣		青		紅							
名称 (季節)		もじり紅葉 (十月一日～)		紫 匂 (五節～春)		紫 薄 様 (五節～春)		裏 培 紅 梅 (五節～春)		山 吹 匂 (五節～春)	
五つ衣・ 単衣	五つ衣 1	表濃青	裏蘇芳	濃紫	紫	淡紅梅	濃紅梅	濃山吹	濃山吹	濃山吹	濃山吹
	2	淡青	紅	↓	↓	"	"	↓	↓	↓	
	3	黄	濃山吹	↓	紫	"	"	"	"	"	
	4	山吹	淡山吹	↓	白	"	"	"	"	"	
	5	"	"	淡紫	"	"	"	"	"	"	
単衣		紅		紅			青			黄青	
名称 (季節)		裏 山 吹 (五節～春)		花 山 吹 (五節～春)		梅 ぞめ (五節～春)		梅 重 (五節～春)		雪 の 下 (五節～春)	
五つ衣・ 単衣	五つ衣 1	表黄	裏濃山吹	中山吹	表白	裏濃蘇芳	淡紅梅白	紅	濃蘇芳	濃紫又は青	白
	2	"	"	"	"	"					白
	3	"	"	"	"	"					白
	4	"	"	"	"	"					紅梅匂
	5	"	"	"	"	"					青
単衣		青		青	青						

名称 (季節)	紫村濃 (五節~春)	二ついろ (五節~春)	いろいろ (五節~春)	菖蒲 (四月のうすぎぬ)	若菖蒲 (四月のうすぎぬ)		
五つ衣・ 単衣							
五つ衣 1	紫 匂	1 淡 紫	淡 紫	濃 青	表濃青 裏白		
2		2 // 山吹	萌 黄	淡 青	青 白		
3		3 裏 山吹	紅 梅	白	淡 青		
4		4 濃 青	5 萌 黄	裏 山吹	濃 紅 梅	紅梅匂	
5		5 淡 青	6 //	裏 濃 蘇 芳	淡 紅 梅		
単衣	紅	紅	紅	白	白		
名称 (季節)	藤 (四月のうすぎぬ)	躑躅 (四月のうすぎぬ)	花橘 (四月のうすぎぬ)	卯花 (四月のうすぎぬ)	撫子 (四月のうすぎぬ)		
五つ衣・ 単衣							
五つ衣 1	淡 紫 匂	紅 匂	濃 山吹	表 白 裏 白	表 裏 蘇 蘇 芳 芳 匂		
2			淡 山吹	// //		紅 蘇 芳	
3			白	// 黄		紅 梅	
4			表 白 裏 濃 青	濃 青		// 濃 青	白 濃 青
5			// 淡 青	淡 青		// 淡 青	白 淡 青
単衣	白	白	白又は青	白	白又は紅		
名称 (季節)	白撫子 (四月のうすぎぬ)	牡丹 (四月のうすぎぬ)	若かえで (四月のうすぎぬ)	半躑躅 (四月のうすぎぬ)	杜若 (五月の ひねり重ね)		
五つ衣・ 単衣							
五つ衣 1	表 白 裏 蘇 芳	表 淡 蘇 芳 裏 白	淡 萌 黄	蘇 芳 匂	淡 紫 匂		
2	// 紅	// //	//				
3	// 紅 梅	// //	//				
4	// 濃 青	// //	//				
5	// 淡 青	// //	//				
単衣	白又は紅	白	紅又は白	白	紅		
名称 (季節)	蘇芳朽葉 (六月よりの 単位重ね)	女郎花 (六月祇園会~)	萩 (七月七日~)	すすき (八月一日~ 八月十五日)	りんどう (八月一日~ 八月十五日)		
五つ衣・ 単衣							
五つ衣 1	紅	表女郎花 裏 青 (経青、緯黄)	萩(経青、緯淡紫)	濃 蘇 芳	淡 紫 匂		
2	淡 紫 青	//	青	蘇 芳 芳			
3	淡 青	//	//	淡 蘇 芳			
4	白	//	//	濃 青			
5	白	//	//	淡 青			
単衣	白	紅	//	白	紅		

赤、緑、黄、紫、青の5色と白がいろいろの組合せに配合されているが、4色相にわたるものは、わずか、3種類であり、ほとんどが、2~3色相の配合、又は、それに白をくわえた配合となっている。このことから、あまり多彩になりすぎると、色彩の統一が失なわれるという、当時の貴族の配色感の洗練さをうかがうことができる。

ま と め

いままでみてきたように、平安貴族の服色の配合は、

すべて自然の配色を象ることに、重点をおいている。それは、かれらが、自然を重視し、自然の色と、人工の色との調和をはかることに心をくだいたからである。すなわち、かれらは、常に、自然への調和を第一とし、装束の配色美も、自然の配色の美にしたがってこそ、生きたものになると考えたからである。色彩の名称も、自然の名に因んでつけたのはそのため、単なる自然模倣ではなかったと思われる。かれらは、四季のうつりかわりに応じて変化する自然の色をつぶさに観察し、讚美したのである。

重色や、染色や織色の微妙さは、そうした観察からうみだされたといえよう。そして、それらの配色美の特色は、快い対比感と、漸層的なりズム感からくる、コーディネートされた統一感をもっている。その配色からくる感情効果は、「華やか」「艶でやか」「雅やか」なものである。

主な参考文献

- 1) 群書類従 (装束部) 続群書類従完成会
- 2) 故実叢書 女官装束着用次第

表一 2 名称別配色分類一 1

名 称	色 相 別 配 色 分 類		名 称	色 相 別 配 色 分 類	
裏こき蘇芳	赤	同一色相	雪の下	白・赤	同一色相濃淡+白
蘇芳匂	赤	同一色相濃淡	紫村濃	紫・緑	類似色相濃淡
松重	赤・緑	対比色相濃淡	二ついろ	紫・黄・緑	対比・類似色相
白ぎぬ	白	白	いろいろ	紫・緑・赤・黄	〃
紅匂	赤	同一色相濃淡	菖蒲	緑・白・赤	対比色相濃淡+白
紅薄様	赤・白	同一色相濃淡+白	若菖蒲	緑・白	同一色相濃淡+白
紅梅匂	赤	同一色相濃淡	藤	紫・白	〃
萌黄匂	緑	〃	躑躅	赤・緑	対比色相濃淡
うす萌黄	緑	同一色相	花橘	黄・白・緑	類似色相濃淡+白
柳	白	白	卯花	白	白
菊の様々	赤	同一色相濃淡	無子	赤・白	同一色相濃淡+白
紅紅葉	赤・黄・緑	対比・類似色相	白撫子	白	白
榎紅葉	赤・黄	類似色相	牡丹	赤	同一色相
青紅葉	緑・黄・赤	対比・類似色相	若かえで	緑	〃
楓紅葉	緑・黄・赤	〃	半躑躅	赤・緑	対比色相濃淡
もじり紅葉	緑・黄	類似色相濃淡	杜若	紫・緑	類似色相濃淡
紫匂	紫	同一色相濃淡	蘇芳朽葉	赤・紫・緑・白	対比・類似色相+白
紫薄様	紫・白	同一色相濃淡+白	女郎花	黄	同一色相
裏培紅梅	赤	同一色相	萩	紫・青	類似色相
山吹白吹	黄	同一色相濃淡	すすき	赤・緑	対比色相濃淡
裏山吹	黄	同一色相	梅重	赤	同一色相濃淡
花山吹	黄	〃	りんどう	紫・緑	類似色の濃淡
梅ぞめ	白	白			

表-3 名称別配色分類-2-

名 称	配 色 の 分 類 (数)
白ぎぬ, 柳, 梅ぞめ, 卯花, 白撫子 裏こき蘇芳, 裏培紅梅, 蘇芳匂, 紅匂, 紅梅匂 紅薄様, 菊の様々, 梅重, 雪の下, 撫子, 牡丹 萌黄匂, 薄萌黄, 若菖蒲, 若かえで 紫匂, 紫薄様, 藤 山吹匂, 裏山吹, 花山吹, 女郎花 紫村濃, 杜若, りんどう, 萩 櫨紅葉 もじり紅葉, 花橘 松重, 菖蒲, 躑躅, 半躑躅, すすき 紅紅葉, 青紅葉, 楓紅葉 二ついろ 蘇芳朽葉 いろいろ	白 の み (5)無 彩 色 赤 系 統 の み (11) 緑 系 統 の み (4) 紫 系 統 の み (3) 黄 系 統 の み (4) 紫 と 緑 系 統 (4) 赤 と 黄 系 統 (1) 緑 と 黄 系 統 (2) 赤 と 緑 系 統 (5) 赤 と 黄 と 緑 (3) 紫 と 黄 と 緑 (1) 赤 と 紫 と 青 (1) 紫 と 緑 と 赤 と 黄 (1)

表-4 「満佐須計装束抄」の五つ衣と単衣の配合

名 称	単 衣	五 つ 衣	コントラスト感	名 称	単 衣	五 つ 衣	コントラスト感
裏こき蘇芳	緑	赤	大	梅がさね	紫	赤	中
蘇芳匂	緑	赤	大	雪の下	緑	赤・白	大
松重	赤	緑・赤	大	紫村濃	赤	緑・紫	大
白ぎぬ	白	白	○	二ついろ	赤	緑・黄・紫	大
紅匂	赤	赤	○	いろいろ	赤	赤・黄・緑・紫	大
紅薄様	白	白・赤	大	菖蒲	白	赤・白・緑	大
紅梅匂	白	赤	大	若菖蒲	白	白・緑	大
萌黄匂	赤	緑	大	藤	白	白・紫	大
うす萌黄	赤	緑	大	躑躅	白	緑・赤	大
柳	赤	白	大	花橘	緑	緑・白・黄	中
菊の様々	緑	赤	大	卯花	白	白	○
紅紅葉	赤	緑・黄・赤	大	撫子	赤	白・赤	大
櫨紅葉	赤	赤・黄	中	白撫子	白	白	大
青紅葉	赤	赤・黄・緑	大	牡丹	白	赤	大
楓紅葉	赤	赤・黄・緑	大	若かえで	赤	緑	大
もじり紅葉	赤	黄・緑	大	半躑躅	白	緑・赤	大
紫匂	赤	紫	中	杜若	赤	緑・紫	大
紫薄様	白	白・紫	中	蘇芳朽葉	白	白・緑・紫・赤	大
裏培紅梅	緑	赤	中	女郎花	赤	黄	中
山吹匂	緑	黄	中	萩	緑	紫	中
裏山吹	緑	黄	中	すすき	白	緑・赤	大
花山吹	緑	黄	中	りんどう	赤	緑・紫	大
梅ぞめ	緑	白	大				

表-5 「女官飾鈔」による重桂の名称と桂構成

名称 (季節)		みな紅の衣 (春・冬)	紅匂の衣 (春・冬)	紅の薄様 (春・冬)	紫匂 (春・冬)	紫の薄様 (春・冬)
桂・単衣	小 桂	松重表青又は萌黄 裏紫	赤いろ	葡萄	萌黄	紅梅
	表 着	白	萌黄	桜表白 裏紅花又は葡萄	裏山吹表黄 裏紅	萌黄
	五つ衣 1	紅	紅	紅	紫	紫
	2	〃	↓	〃	↓	〃
	3	〃		〃		〃
	4	〃		白		白
	5	〃	淡紅	白	淡紫	白
	単衣	紅	紅梅		紅	白
桂・単衣	小 桂	梅の衣 (十一月五節~ 二月)	蒼紅梅 (十一月五節~ 二月)	裏培紅梅 (十一月五節~ 二月)	紅梅がさね (十一月五節~ 二月)	紅梅匂 (十一月五節~ 二月)
	表 着	紅梅	萌黄	萌黄	葡萄	萌黄
	五つ衣 1	表白 裏蘇芳	表紅梅 裏蘇芳	表紅梅 裏紅	紅梅	紅梅
	2	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃	↓
	3	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃	
	4	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃	
	5	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃	淡紅梅
	単衣	蘇芳	青	紅	紅	紅
桂・単衣	小 桂	柳 (春・冬)	桜がさね (十一月五節~ 三月)	山吹匂 (十一月五節~ 三月)	花山吹 (十一月五節~ 三月)	裏山吹 (十一月五節~ 三月)
	表 着	赤いろ	蘇芳	葡萄	青	葡萄
	五つ衣 1	桜萌黄表萌黄 裏紅花	紅梅	萌黄	裏山吹表黄 裏紅	白
	2	表白 裏青	表白 裏あかさ 紅花	山吹	表淡朽葉 裏黄	表黄 裏紅
	3	〃 〃	〃 〃	↓	〃 〃	
	4	〃 〃	〃 〃		〃 〃	
	5	〃 〃	〃 〃	黄青	〃 〃	
	単衣	紅	紅	青	紅	青
桂・単衣	小 桂	紅躑躅 (春)	躑躅 (春)	藤重 (三・四月のみ)	色々五つ (春・冬)	七重 (春・冬)
	表 着	山吹	藤表紫 裏青	松重表青又は萌黄 裏紫	萌黄	萌黄
	五つ衣 1	松重表青又は萌黄 裏紫	榊表蘇芳 裏濃蘇芳	裏山吹表黄 裏紅	紅梅	蘇芳
	2	表蘇芳 裏淡紅	表蘇芳 裏青	表淡紫 裏青	淡紫	白 6
	3	〃 〃	〃 〃	〃 〃	紅梅	濃紅} 2かさね
	4	〃 〃	〃 〃	〃 〃	萌黄	濃青} 1かさね
	5	〃 〃	〃 〃	〃 〃	蘇芳	淡紫} 1かさね
	単衣	青	萌黄	紅	山吹	紅

名称 (季節)		白薄様 (春・冬)	松重 (春・冬)	樺桜 (十一月五節~三月)	桜萌黄 (十一月五節~三月)	葡萄の衣 (春・冬)
桂・単衣	小 桂	紅	蘇 芳	柳裏白青	蘇 芳	紅 梅
	表 着	紅 梅	萌 黄	桜表白花	紅 梅	萌 黄
	五 つ 衣 1	白	表 青 裏 紫	表蘇芳 裏あか花	表萌黄 裏あか花	表蘇芳 裏 縹
	2	"	" "	" "	" "	" "
	3	"	" "	" "	" "	" "
	4	"	" "	" "	" "	" "
	5	"	" "	" "	" "	" "
	単 衣	白	紅	萌黄	紅	紅
名称 (季節)		藤重 (夏のはじめ)	卯の花 (夏のはじめ)	あやめの単衣重ね (五月五日~五月中)	花橘の単衣重ね (五月五日~五月中)	撫子の単衣重ね (六月まで)
桂・単衣	小 桂	紅	葡 萄	二 藍	蘇 芳	紅
	表 着	松重表青裏紫	紅	蘇 芳	白	蘇 芳
	五 つ 衣 1	表淡紫 裏 青	表 白 裏 青	表 青 裏紅梅	表朽葉 裏 青	表紅梅 裏 青
	2	" "	" "	" "	" "	" "
	3	" "	" "	" "	" "	" "
	4	" "	" "	" "	" "	" "
	5	" "	" "	" "	" "	" "
	単 衣	白	白	/	/	/
名称 (季節)		女郎花の単衣重ね (祇園会~秋)	蘇芳の単衣重ね (夏~秋)	萩のたて青の単衣重ね (祇園会~秋)	萩の単衣重ね (祇園会~秋)	淡蘇芳の単衣重ね (夏~秋)
桂・単衣	小 桂	赤いろ	二 藍	女郎花表経青緯黄裏青	紅	松重表青裏紫
	表 着	紅	女郎花表経青緯黄裏青	蘇 芳	女 郎 花	濃 蘇 芳
	五 つ 衣 1	表経青緯黄裏 青	蘇 芳	表経青緯蘇芳裏青	表蘇芳 裏 青	淡 蘇 芳
	2	" "	" "	" "	" "	" "
	3	" "	" "	" "	" "	" "
	4	" "	" "	" "	" "	" "
	5	" "	" "	" "	" "	" "
	単 衣	/	/	/	/	/
名称 (季節)		紅の単衣重ね (夏~秋)	二藍の単衣重ね (夏)	葡萄の単衣重ね (夏~秋)	白き単衣重ね (夏)	菊の御衣八 (十月~五節)
桂・単衣	小 桂	朽 葉	蘇 芳	紅	二 藍	りうたん表蘇芳(りんどう)裏青
	表 着	二 藍	女郎花表経青, 緯黄裏 青	白	紅	きあおうら表黄裏青
	五 つ 衣 1	紅	二 藍	葡 萄	白	} 蘇芳匂 5 } 白 3 青
	2	"	"	"	"	
	3	"	"	"	"	
	4	"	"	"	"	
	5	"	"	"	"	
	単 衣	/	/	/	/	青

名称 (季節)		紅葉重ね八 (十月～五節)	白 菊 (十月～五節)	黄 菊 (十月～五節)	移い菊 (十月～五節)	黄 紅 葉 (十月～五節)
桂・単衣	小 桂	黄菊 表黄 裏青	蘇 芳	葡 萄	青	青
	表 着	菊 表白 裏紫又は蘇芳	黄菊 表黄 裏青	白	松重 表青又は萌黄 裏紫	蘇 芳
	五 つ 衣 1	黄 3	表 白 裏蘇芳	表 黄 裏 青	表中紫 裏 青	表 黄 裏蘇芳
	2	淡山吹 1	// //	// //	// //	// //
	3	濃山吹 1	// //	// //	// //	// //
	4	淡紅 1	// //	// //	// //	// //
	5	濃紅 1	// //	// //	// //	// //
	単 衣	蘇 紅	紅	紅	紅	紅
名称 (季節)		檀紅葉 (十月～五節)	楓紅葉 (十月～五節)			
桂・単衣	小 桂	蘇 芳	葡 萄			
	表 着	葡 萄	紅			
	五 つ 衣 1	表蘇芳 裏 黄	表淡青 裏 黄			
	2	// //	// //			
	3	// //	// //			
	4	// //	// //			
	5	// //	// //			
	単 衣	紅	蘇 芳			

表一6 「女官飾鈔」の単衣・五つ衣・小桂の配合

名 称	単衣	五つ衣	表着	小桂	配色相数	名 称	単衣	五つ衣	表着	小桂	配色相数
みな紅の衣	赤	赤	白	緑	2	葡萄の衣	赤	赤	緑	赤	2
赤い	赤	赤	緑	赤	2	藤がさね	白	紫	緑	赤	3
紅薄様	白	赤	白	赤	1	卯花	白	白	赤	赤	1
紫句	赤	紫	黄	緑	4	あやめの単衣重	一	緑	赤	青	3
紫薄様	白	紫	緑	赤	3	花橘の単衣重	一	黄	白	赤	2
梅の衣	赤	白	赤	赤	1	撫子の単衣重	一	赤	赤	赤	1
苔紅梅	緑	赤	緑	赤	2	女郎花の単衣重	一	黄	赤	赤	2
裏培紅梅	赤	赤	緑	赤	2	蘇芳の単衣重	一	赤	黄	青	3
紅梅がさね	赤	赤	赤	緑	2	萩のたて青の単衣重	一	紫	赤	黄	3
紅梅句	赤	赤	緑	赤	2	萩の単衣重	一	赤	黄	赤	2
柳	赤	白	緑	赤	2	薄蘇芳の単衣重	一	赤	赤	緑	2
桜がさね	赤	白	赤	赤	1	紅の単衣重	一	赤	青	黄	3
山吹化	緑	黄	緑	赤	3	二藍の単衣重	一	青	黄	赤	3
花山吹	赤	黄	黄	緑	3	葡萄の単衣重	一	赤	白	赤	1
裏山吹	緑	黄	白	赤	3	白き単衣重	一	白	赤	青	2
紅躑躅	緑	赤	緑	黄	3	菊の御衣八	緑	赤	黄	赤	3
躑躅	緑	赤	赤	紫	3	紅葉重八	赤	赤・黄	白	黄	2
藤がさね	赤	紫	黄	緑	4	白菊	赤	白	黄	赤	2
色々五重	赤	黄・赤・緑・紫	赤	緑	4	黄菊	赤	黄	白	赤	2
七重	赤	紫・緑・赤・白	赤	緑	3	移い菊	赤	紫	白	緑	3
白薄様	白	白	赤	赤	1	黄紅葉	赤	黄	赤	緑	3
松重	赤	緑	緑	赤	2	櫨紅葉	赤	赤	赤	赤	1
樺桜	緑	赤	白	白	2	楓紅葉	赤	緑	赤	赤	2
桜萌	赤	緑	赤	赤	2						

表一7 五つ衣の名称別配色分類

名 称	配 色 の 分 類
梅の衣, 柳, 桜重, 白薄様, 卯花, 白き単衣重, 白菊	白 の み (7)無彩色
みな紅の衣, 紅句の衣, 紅薄様, 苔紅梅, 裏培紅梅	赤 系 統 の み (17)
紅梅重, 紅梅句, 紅躑躅, 躑躅, 樺桜, 撫子の単衣重ね	
蘇芳の単衣重ね, 萩の単衣重ね, 薄蘇芳の単衣重ね	緑 系 統 の み (4)
紅の単衣重ね, 櫨紅葉, 菊の御衣八	
松重, 桜萌黄, あやめの単衣重ね, 楓紅葉	紫 系 統 の み (8)
紫句, 紫薄様, 藤重(2), 萩の経青単衣重ね, 移い菊	
葡萄の衣, 葡萄の単衣重ね	黄 系 統 の み (7)
山吹句, 花山吹, 裏山吹, 花橘の単衣重ね, 女郎花の単衣重ね	
黄菊, 黄紅葉	青 系 統 の み (1)
二藍の単衣重ね	
紅葉重ね八	赤 と 黄 系 統 (1) 類似色相
七重	
いろいろ五	赤 と 紫 と 緑 と 黄 (1) 対比と類似色相